



「食」をテーマにムスリムおもてなしを推進 ～プロモーションアドバイザー制度を利用して～

石川県小松市環境共生部環境王国こまつ推進本部

はじめに

石川県小松市は、県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展する南加賀の中核都市です。日本海側の拠点空港である小松空港を有し、アジアのハブ空港であるソウル、上海、台北とダイレクトにつながる交通の要衝としても知られています。そして豊かな自然環境と安心・安全で美味しい農産物がある地域として、2011年10月に全国では11番目、北陸三県の自治体では初となる「環境王国」の認定を受け、農産物の6次産業化をはじめ、里山地域の環境保全や観光など多方面にわたる取り組みを進めています。

小松市には外国人観光客のほか、グローバル企業の外国人研修生が多く来訪しており、ムスリムをはじめ宗教等の理由から食事制限のある方への対応に戸惑う飲食店が存在します。

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催と2023年北陸新幹線小松開業に向け、ムスリム誘客のための環境整備の第一ステップとして本事業を実施することになりました。

プロモーションアドバイザーの活用

今回クリアより紹介いただいたアドバイザーは、ムスリムインバウンドの先駆者として全国各地で活動されておられるクレセントレーティングジャパン株式会社の富田祥彦氏です。

まず富田氏には2016年8月と10月の2回、市内の主要観光施設や飲食店等を巡っていただき、当市のインバウンドにおける課題と事業の方向性について協議を行いました。富田氏からは、日本海と山が近く、空港から市中心部まで車で10分程度のアクセスの良さと、「美しい日本のむら百選」にも選ばれ日本有数の苔庭として評価の高い日用苔の里や、日本遺産に認定された石文化など海外から注目される観光資源に対する評価をいただ

いた一方、「ムスリムが安心して利用できる飲食店がないこと」と「ムスリムへの情報発信が弱い」といった課題をご指摘いただきました。

そこで、外国人観光客の皆さんに、旅行先でも安心して食事を楽しんでいただけるよう、市内の飲食店や観光宿泊業者等を対象に、ムスリムに対する基本知識と生活習慣、旅行傾向について理解することを目的にしたセミナーを開催することにしました。



8月 視察の様子（那谷寺）

「食」でつながる ムスリムおもてなしセミナー

セミナーを開催するまでは、市内の飲食店にとって豚肉やアルコールを使用しない等、ムスリムの食事制限に関する知識に関して乏しく、メニューの多言語化などの環境整備が進んでいない状況でした。

そこで、富田氏を講師に、11月と1月の2回、市内

全域の飲食店や観光宿泊業者をはじめ、市国際交流協会等の関係機関を対象としたセミナーを開催し、ムスリム訪日旅行者の増加とムスリムの生活習慣や旅行傾向などの基本知識から情報発信の手法について学び、その上で、ムスリムの食事制限には個人差があるため、ムスリムが自分でメニューを選択できるように情報開示の必要性についてお話しいただきました。

さらに、富田氏のセミナーを踏まえ、きめ細かい対応が求められる飲食店にフォーカスしていくこととなり、第3回は東京浅草と押上でムスリムに人気のカフェ運営に携わる芝山則敬氏を講師に迎え、引き続き、ハラール食材の試食や調達方法、使用食材の表示方法などを学習しました。

セミナーの開催を通して、特別な調理方法や専用の調理器具などを導入する段階以前に、ムスリムの食事制限への正しい理解と現在使用している食材をムスリムにも分かりやすく伝えるメニューの作成が必要であると分かりました。

【食】でつながるムスリムおもてなしセミナー

第1回 2016年11月21日(月)

対象：市内の飲食店、観光宿泊業者、国際交流協会、関係機関 など

内容：ムスリムの基本知識、生活習慣、旅行傾向

第2回 2017年1月18日(水)

対象：市内の飲食店、観光宿泊業者、国際交流協会、関係機関 など

内容：イスラム教の禁止食材、情報開示方法、個人差への対応

第3回 2017年3月22日(水)

対象：市内の飲食店、食品加工業者

内容：首都圏飲食店の先進事例、ハラール食材の調達方法、金沢大学ムスリム留学生アンケート結果について

【講師】

クレセントレーティングジャパン株式会社
富田 祥彦 氏 (第1回、第2回)

株式会社日本SI研究所
芝山 則敬 氏 (第3回)



第1回セミナーの様子(富田氏)



第3回セミナーの様子(ハラール惣菜試食の様子)

今後に向けて

クレアのプロモーションアドバイザー制度の活用により、飲食店をはじめ、行政関係者や国際交流協会、関係機関等の外国人の食事制限への理解が進み、受け入れ体制を整備するための産学官民のネットワークづくりが始まっています。今後は事業に賛同する飲食店を増やすとともに、観光宿泊業や主要観光施設などにも輪を広げ、市全体でムスリムを誘客する体制の整備と情報発信に取り組んでいきたいと考えています。